

放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」取組紹介

龍ヶ崎市教育委員会 文化・生涯学習課



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」取組紹介



目的

発育・発達プログラムを通じて自由な発想を養い、幼少期の運動を通じた運動有能感・自己肯定感を育む

手段

次代を担う龍の子の発育・発達を考えたプログラム

メニュー

放課後PLAYキャンプ『野沢温泉村』実施



Point①: 現代の子どもたちを取り巻く社会問題

社会生活の変化により、子どもたちの運動能力や創造的思考力が著しく低下しています

～子どもたちの発育・発達に関して、文部科学省でも問題提起がされています～

現代社会では、少子化、核家族化が進行し、子ども同士が集団で公園などで自由に遊んだり、人間関係の中で学んでいく機会が減少するなど、様々な体験の機会が失われています。

このように、子どもたちを取り巻く社会環境や生活様式の変化などによって、運動する機会の減少や世の中で得る知識は断片的で受け身であるものが多く、自由な発想で物事を考える機会が減っており、子どもの発育・発達に影響を及ぼしているとされています。



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」取組紹介



事業パートナーの紹介



業務委託契約



事業実施

放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」



【代表取締役】松田 裕雄

筑波大学 客員准教授 (国際産学連携本部)
大学発ベンチャー (株) Waisportsジャパン 代表取締役
一般社団法人スポーツ環境デザイン研究所 理事

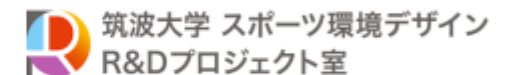
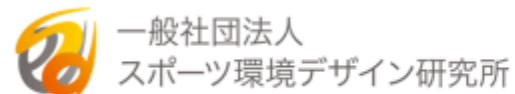
筑波大学発ベンチャーである「(株)Waisportsジャパン」は、オリジナルの様々な運動・スポーツをツールとした人材育成プログラムを展開していることから、業務委託契約を締結し事業実施。



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」取組紹介



協力事業者：放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」取組紹介

昔と比べて子どもの外遊び時間が半減

外あそびの時間が半減

放課後NPO

子どもの外あそびの時間



(出典) シチズン時計調べ、外あそび推進の会HPより筆者作成

昔の日常(イメージ)



現代の日常(イメージ)



昭和の時代は、放課後にはランドセルを玄関に放り投げて、子どもたち同士集団で1日2時間以上外遊びをしていました。一方で、現代の子どもたちの外遊び時間は2016年データで見ると、平均1時間程度で、1981年と比較して半減しています。その後、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨今は平均1時間を切っているというデータも報告されています。外遊びの減少要因として、安全性の懸念から、放課後に子どもだけで遊ぶことが難しくなり、公園などの遊び方の制限等によって外遊びの機会が減少し、テレビ・ビデオのほか、ゲーム・動画・携帯の発達、習い事が主流となっています。さらには、両親が共働き世帯が増えたことによって、親子で向き合う時間も減少してしまっているのが現状です。



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」取組紹介



👉 **Point②**: 現代の子どもたちを取り巻く社会問題解決に向けた取組メニュー

放課後PLAYキャンプ『野沢温泉』プログラム

事業の概要・目的

小学生を対象に地域資源が豊富な長野県野沢温泉村を通して、非日常空間を創出し、親元を離れて子どもたちだけで大自然の中でアクティビティを楽しみながら寝食を共にし、自己と向き合い、自ら考えて行動することで、未知なる体験から新たな自分を見出すことで、親子の新たな気づき・発見や自己開発意欲の向上に資するとともに、自己肯定感を高められる機会の創出を図ります。



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」2023取組紹介

長野県野沢温泉村で2泊3日のキャンプを実施。

本活動は、地域資源が豊富な長野県野沢温泉村を通して、未知なる体験から非日常空間を創出し、親元を離れて子どもたちだけで大自然の中でアクティビティを楽しみながら寝食を共にし、自己と向き合い自ら考えて行動することで、新たな自分を見出すことで、親子の新たな気づき・発見や自己肯定感を高められることを目的として実施するものです。

(参考) 2023実施内容

1日目 8月22日		2日目 8月23日		3日目 8月24日		4日目 8月25日	
午前	移動 開会式 <small>宿舎とキャンプ荷を分ける 長坂ゲレンデ周辺、飯盒炊飯</small>	早朝	ポールパーク 朝食(補食)用意	早朝	野菜摘み	早朝	スキー場 登り
午後	ゴンドラで上がる トレッキング ゴンドラ 植樹 名札作り	午前	魚掴みどり(10時~) ピザづくり昼食	午前	野沢の子どもと交流 In ゲレンデ 10時~12時 <small>研鑽会メンバー招集 日影ゲレンデにてランチ? 弁当?</small>	午前	野沢散策 集印温泉 めぐり スパリーナ
夜	夕飯 キャンプ <small>食材 集め</small>	午後	集印温泉 めぐり (博物館) ※お土産購入	午後	昼食(宿/お弁当?) SUP体験 集印温泉 めぐり	午後	昼食 買い物 閉会式 出発：14時ごろ
宿泊先：パンガロー <small>※キャンプファイヤは費用を確認</small>		宿泊先：やすらぎ / ●●		宿の アクティビティ フリー <small>最終日の行動計画</small> 宿泊先：やすらぎ / ●●			



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」2023取組紹介

社会課題解決に向けて、令和4年度からスタートした本活動は、単なる『キャンプ事業』ではなく、野沢温泉村の自然豊かな地域資源を通じた新たな自分の発見（親子の新たな関係構築・自己肯定感の向上）や、リーダー人材の育成を目的として実施するものです。

1日目



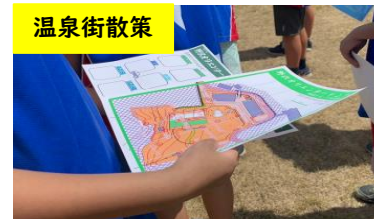
ゴンドラ

2日目



魚掴み取り

3日目



温泉街散策

4日目



スキー場登り



ブナ苗木植樹



魚焼き準備



野沢の子どもと交流



宿での集合写真



キャンプファイヤー



ピザ手作り体験



SUP体験



閉校式

～本活動を通しての子どもたちの振り返り・感想（一部抜粋）～

- ・初めて焼きそばを作ってみたが、自分で作った焼きそばがこんなにも美味しいことに気づき、家に帰っても自分で料理をするようになった。
- ・テレビゲーム以外にも魚とりやSUP等こんなに楽しいことがあるんだと気づいた。
- ・みんなと生活してあまりにも楽しくて家に帰りたくない！御飯がうまい！また来年も野沢に行きたい！
- ・みんなを並ばせたりするところを見ていてやってみたくて、生まれて初めてリーダーをやった、楽しい。



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」取組紹介



調査内容（子どもの言動及び行動変容）

■ ライフラインチャートを活用した分析を実施

- ・キャンプ期間中、子どもの言動だったり、行動変容について分析するため、毎日子どもたちに対して「感じたこと、気づいたこと」について、ライフラインチャート（自己分析）を行っています。
- ・最終的に集計した上でプログラム前後での分析結果（子ども行動変容）を出した上で親子での振り返り会を行います。

本活動を通して親の振り返り・感想（一部抜粋）

- ・フローチャートの結果を見ると、子ども自身は自己評価が高いのに対し、親から見た子どもの評価が低く、乖離があると感じた。
→家庭でも親子のケンカになってしまうのはこのようなズレが生じていると痛感した（同様の意見多数あり）
- ・あまり考えていないタイプであると思っていたが、自分と向き合って自己評価ができるということが分かった。
- ・キャンプを通して他のことにもやる気が感じられるようになった。



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」取組紹介



■調査分析から分かること

本活動は親子にとって「新たな気づき」を与えるきっかけづくり

- ・集団行動の中で様々なアクティビティを通じたキャンプを行うことで自分自身の価値観を広げていくことに繋がっている。
- ・親から見た我が子と実際に子ども自身が考えていることは違う
- ・親の先入観（決めつけ）で、子どもの可能性を消してしまっていることに対する“気づき”
- ・キャンプを通じて“喜び・楽しさ”を実感して自ら何かを始めることへのきっかけづくり



放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」2024実施予定



■令和6年度実施スケジュール

本活動は親子にとって「新たな気づき」を与えるきっかけづくり

放課後PLAYキャンプ「野沢温泉村」2024

- ・事前説明会：令和6年6月15日（参加申込が必要）
→ 参加者募集：～6月12日まで
- ・事前説明会開催場所：ニューライフアリーナ龍ヶ崎サブアリーナ
- ・プログラム実施時期：令和6年8月26日～29日 ＊3泊4日
- ・プログラム実施場所：長野県野沢温泉村